

令和4年3月市議会定例会
消 防 局
議案説明資料
(当初予算分)

目 次

【予算案件】

- | | | |
|----|--|--------------|
| 1 | 令和4年度消防局所管予算(案)総括表 | ・・・・・・・・ 1頁 |
| 2 | 救急高度化整備事業について
(職員研修費) | ・・・・・・・・ 2頁 |
| 3 | 消防団員報酬の見直し事業について(拡充)
(消防活動費、消防団員報酬、分団運営活動費) | ・・・・・・・・ 3頁 |
| 4 | 消防団活性化事業について
(分団運営活動費) | ・・・・・・・・ 4頁 |
| 5 | 富山消防署南部出張所改築事業について
(消防施設整備事業費) | ・・・・ 5～9頁 |
| 6 | 分団器具置場の改築事業について
(消防施設整備事業費) | ・・・・・・・・ 10頁 |
| 7 | 施設等改修修繕事業について
(消防施設整備事業費) | ・・・・・・・・ 11頁 |
| 8 | 消防水利整備事業について
(消防水利整備事業費) | ・・・・・・・・ 12頁 |
| 9 | 消防車両等購入整備事業について
(消防車両等整備事業費) | ・・・・・・・・ 13頁 |
| 10 | 消防総合情報管理システム改修事業について(新規)
(消防施設整備事業費) | ・・・・・・・・ 14頁 |
| 11 | 継続費について | ・・・・・・・・ 15頁 |

【条例案件】

- | | | |
|----|------------------------|--------------|
| 12 | 富山市消防団条例の一部を改正する条例制定の件 | ・・・・・・・・ 16頁 |
|----|------------------------|--------------|

1 令和4年度 消防局所管予算(案)総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目 (款・項・目)	令和4年度 当初予算(案) A	令和3年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
消防局 合計	4,991,497	4,487,733	503,764	111.2
(款9) 消防費	4,991,497	4,487,733	503,764	111.2
(項1) 消防費	4,991,497	4,487,733	503,764	111.2
(目1) 常備消防費	3,801,923	3,797,012	4,911	100.1
(目2) 非常備消防費	365,161	361,807	3,354	100.9
(目3) 消防施設費	824,413	328,914	495,499	250.6

【職員研修費】

2 救急高度化整備事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 6,977千円

〔 財源内訳 一般財源 6,977千円 〕

(2) 事業目的

傷病者の救命効果の向上を目的とした救急高度化整備事業の一環として、救急救命士の養成を進めるもの。

(3) 事業内容

国が定める「消防力の整備指針」の基準を参考とし、救急自動車1台に救急救命士が常時1名以上乗車できるよう計画的に養成している。

今後とも、市民の負託に応えるため継続的に職員を救急救命士養成所へ約6ヶ月間派遣し、国家資格である救急救命士の資格を取得させるもの。

(4) 養成経過及び予定

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
養成人員	2	2	3	3	3

※ 令和5年度は計画数

3 消防団員報酬の見直し事業について(拡充)

[消防局総務課]

(1) 予算額 199,173千円

〔 財源内訳 一般財源 199,173千円 〕

- ・ 消防活動費 2,098千円
- ・ 消防団員報酬 180,065千円
- ・ 分団運営活動費 17,010千円

(2) 事業目的

消防団員を確保することを目的として、令和3年4月に消防庁長官通知「消防団員の報酬等の基準の策定等について」が発出され、その「報酬等の基準」を踏まえた処遇の改善・見直しを行うことで、団員の士気向上や家族等の理解に繋げ、消防団員の確保を図るもの。

(3) 事業内容

- ・ 「出場手当」を廃止し、「出動報酬」を新設
- ・ 「年額報酬」「出動報酬」の基準を改めて策定
(年額報酬：団員階級で、現行22,000円 → 新36,500円)
(出動報酬：現行一律1,900円 → 新 災害8,000円、災害以外2,000円)
- ・ 「技術報酬」は廃止
- ・ 報酬等は団員個人への直接支給
- ・ 消防団の運営に係る必要経費を予算措置
- ・ 改正予定は、令和4年4月1日

【分団運営活動費】

4 消防団活性化事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 5,272千円

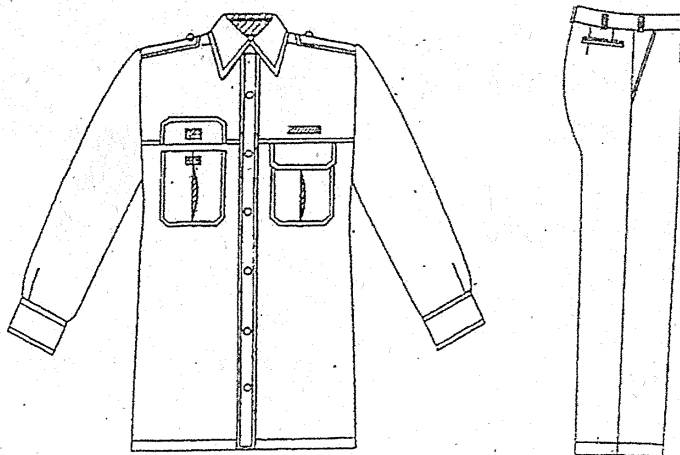
財源内訳	県補助金	1,000千円
	手数料	2,800千円
	一般財源	1,472千円

(2) 事業目的

平成20年度から平成22年度の3か年で整備した消防団員活動服の経年劣化が著しいため、消防団員の災害現場活動の充実と安全確保を図るため、消防団員活動服を更新するもの。

(3) 事業内容

5か年で消防団員活動服を全団員に整備。(5か年計画の1年目)



消防団員活動服

【消防施設整備事業費】

5 富山消防署南部出張所改築事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 347,366千円

財源内訳	市債	346,800千円
	一般財源	566千円

(2) 事業目的

富山消防署南部出張所及び富山方面団熊野分団器具置場は築43年が経過し（昭和53年建築）老朽化が著しく、昭和56年以前の庁舎であるため防災拠点としての耐震強度を有しないと推定されることから、改築し防災拠点としての機能の向上を図るもの。

(3) 事業内容

改築工事を行うもの。

<p>【①南部出張所 建物概要(案)】</p> <p>敷地面積:1,524.76㎡</p> <p>建物構造:鉄骨造2階建て</p> <p>建築面積:約463㎡ 延べ面積:約700㎡</p> <p>1階 車庫、事務室、資器材倉庫等</p> <p>2階 研修室、仮眠室等</p> <p>配置車両:3台</p> <p>【②熊野分団器具置場 建物概要(案)】</p> <p>建物構造:鉄骨造2階建て</p> <p>建築面積:約54㎡ 延べ面積:約108㎡</p> <p>車庫(消防車両1台)、詰所、倉庫</p>	<p>付近見取図</p> <p>富山消防署南部出張所 悪王寺 25 番 1</p>
---	---

令和4年度改築工事 329,000千円

〃 その他経費 18,366千円

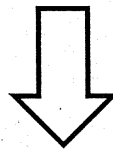
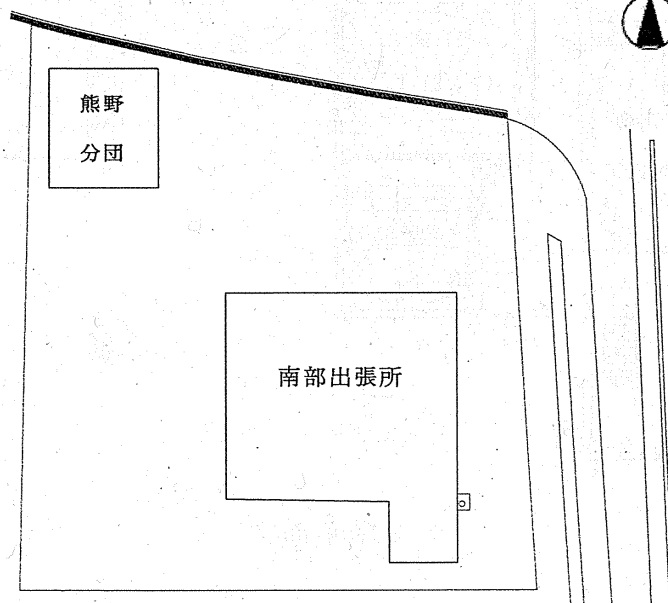
※改築工事は令和4年度・5年度継続事業(事業費550,500千円)

(4) 事業計画

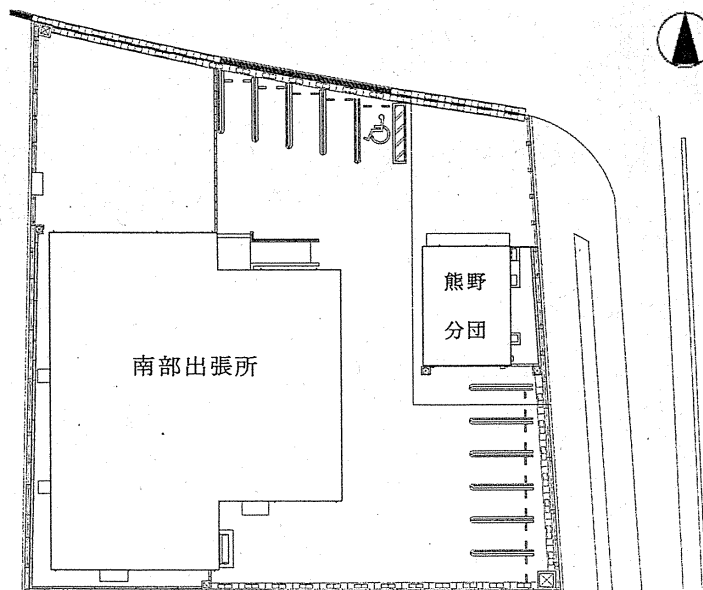
令和3年度 実施設計
令和4年度 } 改築工事、解体工事
令和5年度 }
(竣工は令和6年3月末を予定)

敷地配置図(案)

【現況】

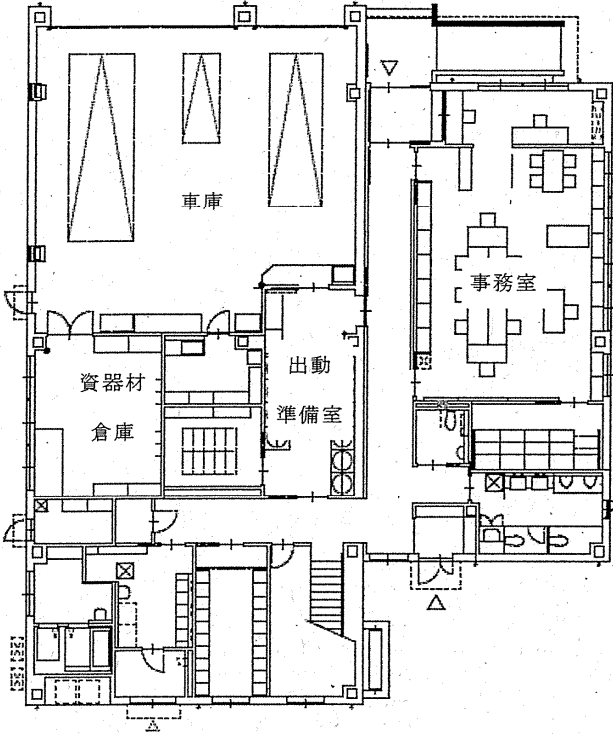


【完成後】

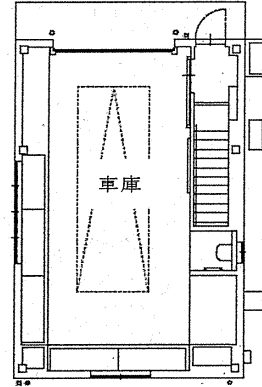


平面図(案)

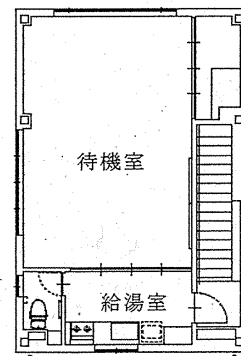
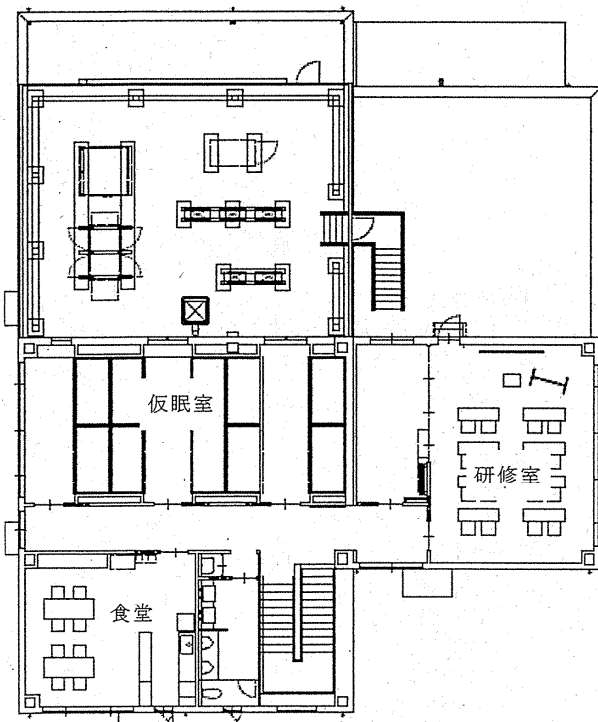
【南部出張所】



【熊野分団】

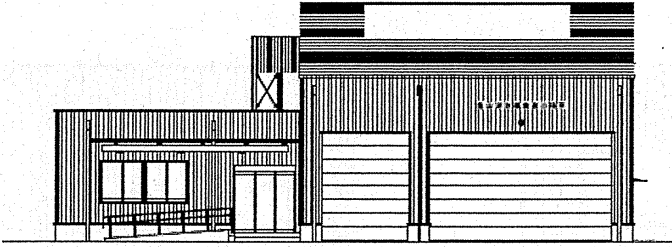


1階平面図

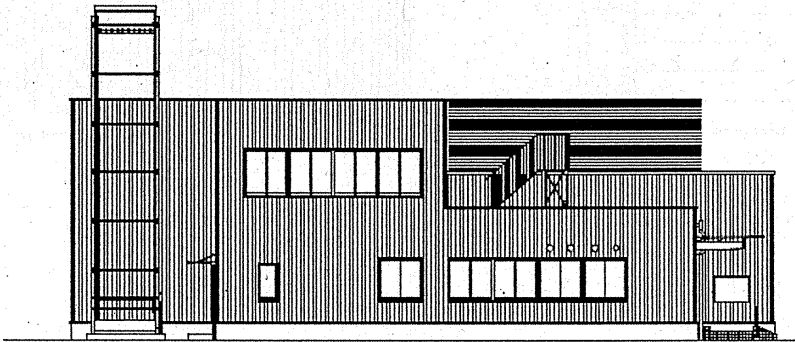


2階平面図

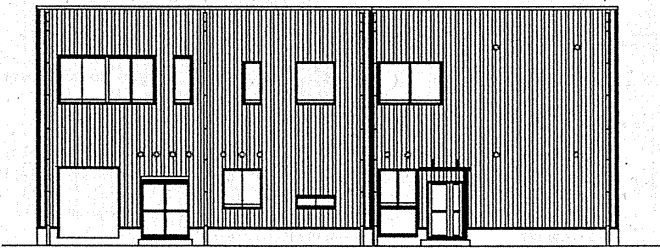
南部出張所
立面図(案)



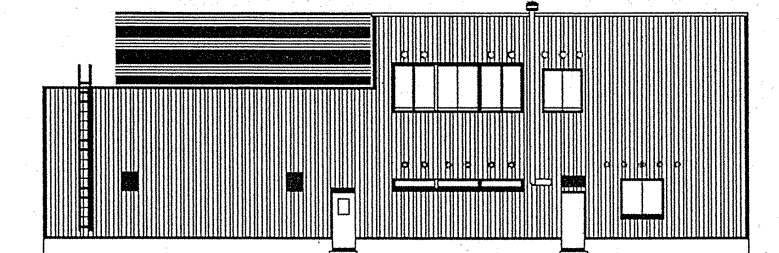
北側立面図



東側立面図

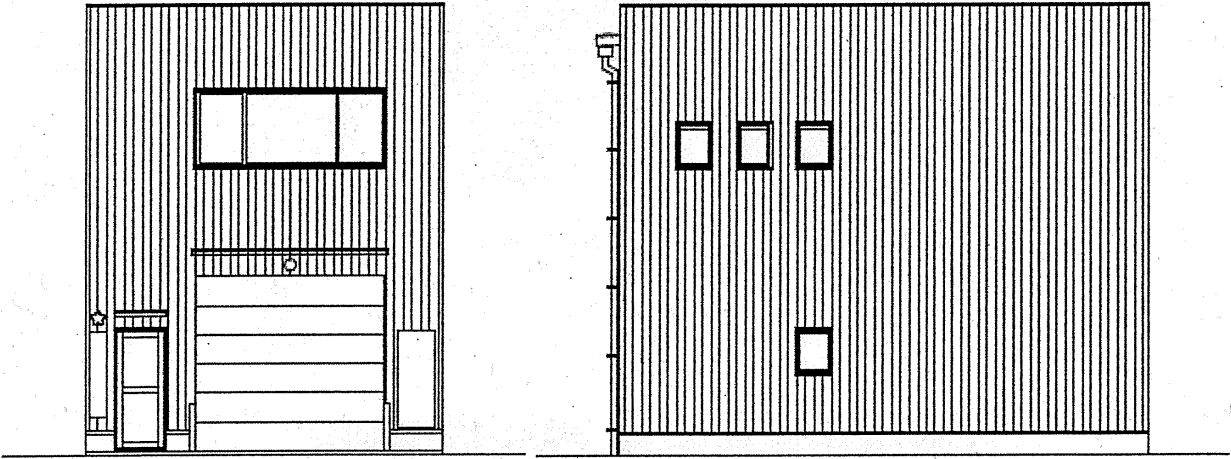


南側立面図



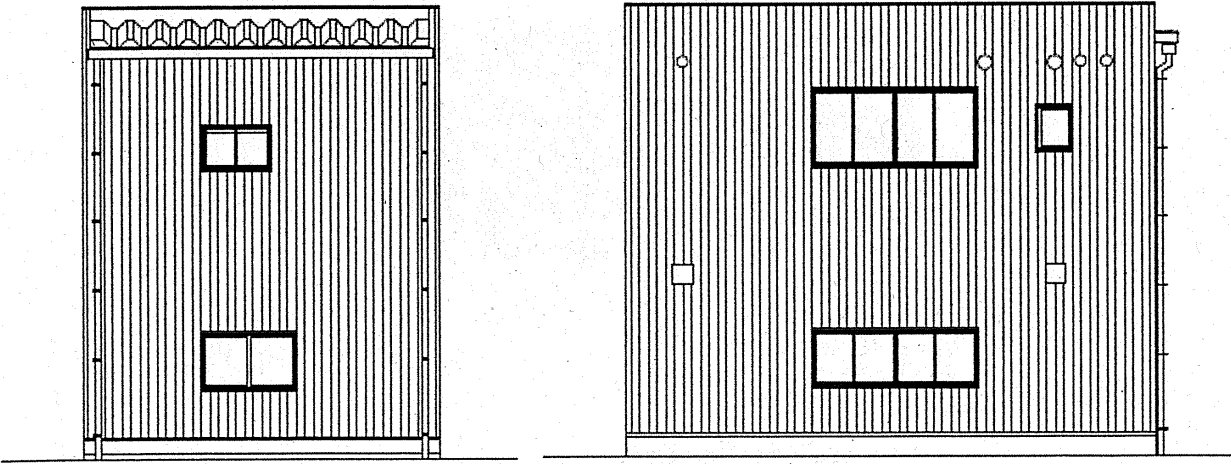
西側立面図

熊野分団
立面図(案)



北側立面図

東側立面図



南側立面図

西側立面図

【消防施設整備事業費】

6 分団器具置場の改築事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 17,000千円

〔 財源内訳 市債 17,000千円 〕

(2) 事業目的

老朽化が進んでいる地域の防災拠点である分団器具置場を、計画的に建替え整備するもの。

(3) 事業内容

実施設計業務(地質調査含む) 17,000千円

ア. 富山方面団総曲輪分団器具置場 (昭和45年6月建築(築51年))

イ. 富山方面団愛宕分団器具置場 (昭和51年11月建築(築45年))

【総曲輪分団】

実施設計業務 9,150千円
(地質調査含む)



【愛宕分団】

実施設計業務 7,850千円
(地質調査含む)



【消防施設整備事業費】

7 施設等改修修繕事業について

[消防局総務課]

(1) 予算額 15,150千円

財源内訳	国庫補助	10,000千円
	一般財源	5,150千円

(2) 事業目的

消防局・富山消防署合同庁舎の電気設備及び婦中消防署の空調設備の一部を改修し、庁舎の機能維持を図るもの。

- ・ 消防局・富山消防署合同庁舎：平成元年11月建築(築32年)
- ・ 婦中消防署：平成7年12月建築(築26年)

(3) 事業内容

【消防局・富山消防署合同庁舎】

- ア. 高圧引込ケーブル更新業務委託料 1,150千円
- イ. 避雷針更新業務委託料 4,000千円

【婦中消防署】

- ウ. 空調設備一部更新業務委託料 10,000千円
(会議室及び作戦指令室等：室内機×15機、室外機×3機更新)

【消防水利整備事業費】

8 消防水利整備事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 14,900千円

〔 財源内訳 一般財源 14,900千円 〕

(2) 事業目的

国が示す「消防水利の基準」を指標とし、地域における水利の状況を考慮して、消火栓を設置するもの。

(3) 事業内容

増設 1基

移設 22基

【消防車両等整備事業費】

9 消防車両等購入整備事業について

[消防局警防課]

(1) 予算額 175,505千円

財源内訳	国庫補助	7,160千円
	市債	161,100千円
	一般財源	7,245千円

(2) 事業目的

長年の使用により老朽化している消防車両を更新整備するもの。

(3) 事業内容

- ア. 常備消防車両3台の更新整備
 - ・化学消防ポンプ自動車 1台
(富山消防署中分署)
 - ・高規格救急自動車 2台
(婦中消防署、婦中消防署山田分遣所)
- イ. 非常備消防車両3台の更新整備
 - ・消防ポンプ自動車 2台
(老田分団、杉原分団)
 - ・小型動力ポンプ積載車 1台
(保内分団(三田))

(参考図)

常備消防車両		非常備消防車両	
			
化学消防ポンプ自動車	高規格救急自動車	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車

【消防施設整備事業費】

10 立山町との消防指令業務の共同運用に係る
消防総合情報管理システム改修事業について(新規)

[消防局通信指令課]

(1) 予算額 208,141千円

〔 財源内訳 雑入 208,141千円 〕

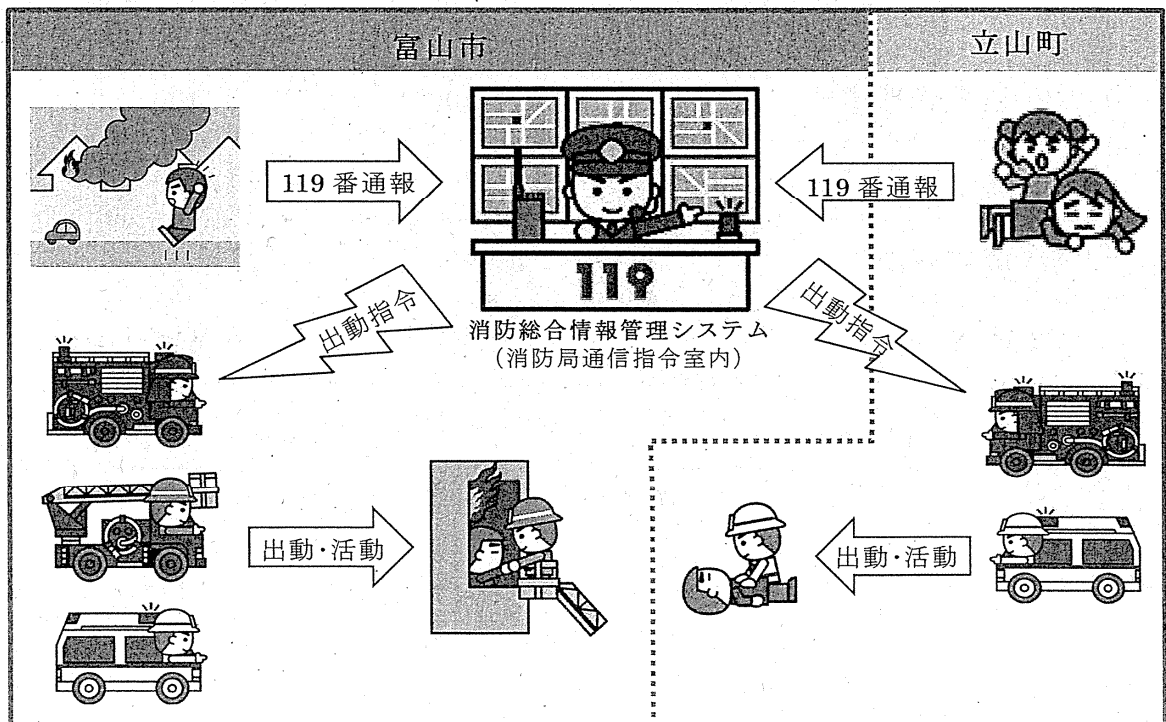
(2) 事業目的

令和2年12月18日付で立山町長から要請があった「立山町との消防指令業務の共同運用」について、令和5年4月1日から運用開始できるように消防総合情報管理システムを改修するもの。

(3) 事業内容

立山町管内の119番通報も本市で受け付け、災害地点の特定、出動車両の選定及び出動指令等を行うため、消防総合情報管理システムを改修する。

【消防指令業務の共同運用イメージ】



【消防施設整備事業費】

11 継続費について

[消防局総務課]

(1) 第2表 継続費

(単位 千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
9 消防費	1 消防費	消防施設 整備事業費 (富山消防署南部出張所)	550,500	令和4年度	329,000
				令和5年度	221,500

(2) 事業内容

富山消防署南部出張所改築事業

(3) 内 訳

(単位 千円)

	令和4年度	令和5年度
① 設計意図伝達業務	1,100	1,100
② 工事管理業務	5,400	5,400
③ 建築主体工事	227,700	151,800
④ 電気設備工事	48,900	32,600
⑤ 機械設備工事	45,900	30,600
合 計	329,000	221,500

【条例案件】

12 富山市消防団条例の一部を改正する条例制定の件について

[消防局総務課]

(1) 改正理由

消防団員の処遇改善を図ることにより、消防団員の確保を目的とした消防庁長官通知「消防団員の報酬等の基準の策定等について」(令和3年4月13日消防地第171号)において、年額報酬及び出動報酬の基準等が示され、あわせて「〇〇市(町村)消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例(例)の一部を改正する条例(例)」が改正されたことに伴い、富山市消防団条例の一部を改正するもの。

(2) 改正内容

- ・ 団員報酬は、年額報酬と出動報酬(新設)の2種類
- ・ 技術報酬と出動手当の廃止
- ・ 年額報酬の額は、国が示す地方交付税単価と同額
- ・ 出動報酬の額は、災害の場合は1日につき8,000円(4時間未満の場合4,000円)、警戒・訓練・その他の場合は1日につき2,000円
- ・ その他規定の整備

(3) 施行期日

令和4年4月1日

(4) 関係法令

- ・ 〇〇市(町村)消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例(例)の一部を改正する条例(例)